

【第3回】講義概要紹介 10月28日(火)

■ 講師

【略歴】

1953 年	小豆島町（旧内海町）出身 日本大学経済学部卒業後、 同町の食品製造会社勤務を経て
1983 年	株式会社 中武商店に入社
1994 年	同社代表取締役社長に就任

【講師紹介】

転勤族の家族として小中高で8回の転校を経験、高校2年の時に先代が手延べ素麺製造業を起業。伝統食品に新しい風をとの志をもって同社に入社、何度かの転換点を経て現在の業態に至る。

経営方針として、一貫して独自性を重視し、オリーブ素麺、生素麺等の従来にない製品を業界に先駆けて開発している。

1994 年、手延べ素麺製造技能士認定。

業界の評価向上には社会貢献が必要との思いで、製麺技術研究会、商工会、青年会議所、小豆島オリーブ協会、人権擁護委員等の活動も積極的に行っている。



中武 義景
(なかぶ よしかげ)

株式会社中武商店
代表取締役社長

【株式会社中武商店について】

1970 年 手延べ素麺製造業を小豆島町に創業
1971 年 株式会社中武商店を設立し、伝統の小豆島手延べ素麺を製造開始
贈答品販路を拡大し、卸売業にも進出
1990 年 オリーブ素麺を発売
1996 年 生そうめんを新開発し販売開始
オリーブ素麺の原料の安定供給確保のため、特区制度によりオリーブ栽培を開始
2005 年 産業観光を取り入れたそうめん体験施設と飲食専門店「なかぶ庵」を整備拡充し開店
2018 年 体験参加者累計2万人、
2019 年 来店者数累計20万人達成
2020 年にも生シリーズの生手延べうどんを開発しています。

■ 講義概要

「伝統食品は面白い。新しい風を求めての軌跡」

意外と知られていない手延べ素麺の概要と430年に及ぶ歴史と現状、将来を現場サイトからの考察を行い、さらに当社の独自性を重視したこれまでの取り組みの軌跡を具体的に紹介することにより、伝統食品に携わる面白さ、悩み、将来の希望につながる、望まれる支援などについて、講義したいと思います。

